

報告期間		ユーザー様名		S I 名・指導者名	
2007年11月1日から		B社		OFFICE-IGUCHI	
2007年11月30日まで				井口 一成	
製品の内容、製品種類数、製品の単価(最高・平均・最低など)					
自動車部品の製造 製品点数 500					
生産形態、工程の要素					
<input type="checkbox"/> 組み立て <input type="checkbox"/> 機械加工 <input type="checkbox"/> 板金 <input type="checkbox"/> プレス <input type="checkbox"/> 溶接 <input checked="" type="checkbox"/> 塗装 <input type="checkbox"/> メッキ <input checked="" type="checkbox"/> 研磨 <input checked="" type="checkbox"/> 鋳物 <input type="checkbox"/> 鍛造 <input type="checkbox"/> 熱処理 <input type="checkbox"/> 実装、SMT <input type="checkbox"/> 溶解 <input type="checkbox"/> スリット <input type="checkbox"/> 切断 <input type="checkbox"/> 溶断 <input type="checkbox"/> 成型 <input type="checkbox"/> 圧延 <input type="checkbox"/> 凝固 <input type="checkbox"/> 接着 <input type="checkbox"/> 食品加工 <input type="checkbox"/> プラスチック加工 <input type="checkbox"/> 化学薬品 <input type="checkbox"/> 衣類(裁断・縫製・ホタ) <input type="checkbox"/> 皮、ゴム、紙加工 <input type="checkbox"/> 織、編 <input type="checkbox"/> 印刷(除マニュアル等)・手書き <input type="checkbox"/> 染色 <input type="checkbox"/> エッチング その他 ( )					
指導種類		<input checked="" type="checkbox"/> 新規導入 <input type="checkbox"/> バージョンアップ <input type="checkbox"/> 再導入 <input type="checkbox"/> その他 ( )			
今回指導回数		44回目～47回目			
TPiCSバージョン		TPiCS-X Ver3.1			
オプション・DB		受注販売管理OP、			
アイテム件数	1879件	BOM	2150件	所要量計算	回/月
実績インプット	件/日	伝票発行	回/月	伝票発行	件/日
製番展開	回/月	製番展開	件/回		
出席者		生産管理PG責任者、製造部長、導入担当者、			
今回の指導目的					
【今月の予定】					
B社様の導入をより良く行うための検討をして進め方を決定する。					
【11月の実施内容】					
B社様の導入をより良く行うために二ノ宮社長様にご指導を頂きました。					
『お客様とのコミュニケーションを大切にする』					
『お客様にTPiCS運用の効果イメージを持っていただく』					
指導内容をもとにB社様の取締役部長様と打ち合わせをしました。					
①担当者を信頼して導入作業を任せているが、業務が忙しくなると導入作業がストップしてしまう。					
このような現状では、早期に運用に結びつけるのは難しい事を説明し理解して頂きました。					
②TPiCS導入効果についても具体的な項目について再度説明させて頂きました。					
③今後の進め方については					
・第一ステップを運用させて、TPiCS導入効果を実感していただく。「成功体験」する。					
・取締役部長様がTPiCS導入の先頭に立って実施することを約束しました。					
この進め方で11月よりスタートすることになりました。					

## 経過（発言者と内容）

### 【11月の具体的実施項目】

導入説明の時は必ず取締役部長様と担当者に出席していただき「内容の理解」と「課題の共有化」をお願いして実施しました。

以下の機能について説明し設定の変更をしました。

①B社様で必要な項目をユーザー定義フィールドで追加した。

（アイテムマスター、実績インプット。）

②入力に最適な実績インプット画面にするために、明細パネルのデザイン設定を変更した。

③市販のミシン目用紙に合わせた印刷フォームに伝票デザインを変更した。

（注文書、納品書、生産指示書）

④月次集計資料の作成を **STILL** で自動化することにした。

受注、出荷の月次実績収集表

受注納期遅れの集計表

⑤月次棚卸しを **TPICS** の方法で計算して現状のものと比較することにした。

（ステップ1の項目）

① 鑄造工程の責任者が作成した生産計画を生産計画表の画面より入力する。

② 生産指示書の発行をする。

③ 生産指示書の印刷をし、確定をする。

④ 鑄造工程に生産指示書を発行する。

⑤ 生産指示書に従い生産し、結果を実績インプットする。

⑥ 月次資料を印刷する。

### 【12月の予定】

・ステップ1の運用を可能にする。

・日次、月次予実績資料を出力する。

結 論

【所感】

二ノ宮社長様のご指導のもとに、B社様の取締役部長様と対応について打ち合わせをした結果、訪問日では導入作業が進むようになったが、訪問日以外は進みが遅いように感じます。

この課題を解決する打ち合わせを取締役部長様と行い12月の導入作業を進める予定です。

検討事項・要回答事項・要継続審議事項

事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
次回開催日(予定)	次回開催場所(予定)	議事録作成日	議事録作成者		
		年 月 日 ( )			